

受刑者の 社会復帰支援の 課題をさぐる

刑を終え社会に戻っても、受け入れ先がなく生活困窮の末に無銭飲食などの軽微な犯罪を繰り返して再び服役する人が少なくありません。そのなかには高齢者や受刑者の2割以上を占めるといわれる知的障がい者など、本来なら福祉の対象とすべき人々も多くいます。刑を満期で出所した人が再犯しないように社会に復帰するには、出所後のケアとともに出所前に社会復帰に備えた情報や知識の取得、相談などができるサポートが必要といわれます。

S J Fの第1回助成先である監獄人権センターの助成対象事業「受刑経験者が社会復帰しやすい環境を実現する施策提案」に関連し、受刑者が出所する前に必要とされる社会復帰支援の課題について、ゲストからの問題提起とゲストと参加者の対話、参加者同士の討議によって考えます。

■ゲスト：松友 了さん（東京社会福祉士会司法福祉副委員長、関西福祉大学客員教授）

桑山 亜也さん（監獄人権センター理事）

松浦 亮輔さん（監獄人権センタースタッフ）

進行：辻 利夫（S J F運営委員）

■日時：2月1日（金）18：30～21：00（18:00開場）

■場所：四谷地域センター 11階集会室

新宿区内藤町87（丸の内線新宿御苑前駅 徒歩5分）

<http://www2.odn.ne.jp/~hao65350/about.html>

■資料代：800円

■主催：ソーシャル・ジャスティス基金

<http://socialjustice.jp/>

■お申込：<http://socialjustice.jp/201302.html>

メール info@socialjustice.jp

電話 03-5941-7948

F A X 03-3200-9250

